

事業者排出量削減報告書

(あて先) 京都府知事 住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 【京都市下京区四条通河原町西入真町52番地】	氏名 (法人にあっては、 株式会社高島屋京都店 執行役員 店長 松本 浩一
--	---

京都府地球温暖化対策条例第19条の規定により提出します。

特定事業者の主たる業種	百貨店
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者 (大規模エネルギー使用事業者 (原油に換算して1,500キロリットル以上)) <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者 (大規模運送事業者 (トラック又はバス100台以上/タクシー150台以上/鉄道車両150両以上)) <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者 (その他の温室効果ガスの大規模排出事業者 (二酸化炭素に換算して3,000トン以上))
計画期間	平成 18 年 4 月 ~ 平成 20 年 3 月
基本方針	エネルギー・水道消費の削減、廃棄物排出量の削減等、全部環境マネジメントシステムにより原単位前年実績1%の削減を目指す。(＜19＞原単位1%の削減目標に対し内的要因として耐震工事の夜間工事の終了及び省エネ効果により当初目標の1.23%下回った)
推進体制	店長を本部長とする環境・社会貢献委員会及び省エネルギー推進委員会を月例開催(＜19＞委員会にてエネルギー・水道使用量及び廃棄物選捗状況報告並びに夏・冬の啓蒙ポスターを掲示、もったいないキャンペーンで蛍光灯にLEDライトを取り付け節電を行った。)

年度ごとの具体的な取組及び措置	年度	設備、対象、工程等	措置内容
	18~19	京都店	空調機設備更新時の省エネ対策及びLED照明の採用。熱源機器更新時の高効率機の採用 (18年度末実績293t-CO2 44kwh、131㎡削減、＜19＞空調機・ターボ冷凍機第2期工事19年度末実施のため実質削減は＜20＞より)
19	京都店	受変電設備更新時のトランス変圧器の採用及び所内電力の削減 (20年度末完成の為実質削減は＜21＞より)	
19	洛西店	空調機設備更新時の省エネ対策及びLED照明の採用。(20年度実施へ変更)	

温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度(実績) (17)年度 (二酸化炭素換算(t))		目標年度(計画) (19)年度 (二酸化炭素換算(t))		削減率 (計画) (%)	報告年度(実績) (19)年度 (二酸化炭素換算(t))		削減率 (実績) (%)
		A 事業所等排出区分	17,937 t	17,740 t	-1.1 %		19,901.8 t	11.0 %	
B 輸送車両排出区分	t	t	%	t	%				
C その他排出区分	t	t	%	t	%				
排出合計	*1 17,937 t	*2 17,740 t	-1.1 %	*4 19,901.8 t	11.0 %				

その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等	対策等の区分	目標年度(計画)		報告年度(実績)	
		取組量等 (二酸化炭素換算(t))	削減率	取組量等 (二酸化炭素換算(t))	削減率
森林の保全及び整備	(整備面積) ha	(吸収量) t		(整備面積) ha	(吸収量) t
府内産の木材の利用	(利用量) m³	(削減量) t		(利用量) m³	(削減量) t
自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	(売電量) kwh	(削減量) t		(売電量) kwh	(削減量) t
	(熱供給量) GJ	(削減量) t		(熱供給量) GJ	(削減量) t
グリーン電力の購入	(購入量) kwh	(削減量) t		(購入量) kwh	(削減量) t
削減量等合計		*3 t		*5 t	

差引排出量 (排出合計-削減等合計)	基準年度(実績)	目標年度(計画)	削減率(計画)	報告年度(実績)	削減率(実績)
*1	17,937 t	(17)-(19) 17,740.0 t	-1.1 %	(14)-(16) 19,901.8 t	11.0 %

特記事項

1.事業計画の19年度分について、事業年度未実施のため実質削減は＜20＞からとなります。
 2.事業計画の18年度実施分での19年度削減＜19＞ 京都店293t-CO2
 3.19年度使用量減要因
 京都店 耐震工事終了による夜間使用電力減少 318t-CO2 (842kwh) 洛西店 17年末実施ガス冷水発生機更新によるガス使用量減 127t-CO2 (61㎡)
 4.19年度使用量増要因
 H18.9~
 内的要因による電気・ガス使用量の増加 ...京都店 レストラン街の再構築(10店舗⇒16店舗、設備機器増及び営業時間延長)1292t-CO2
 平成18年4月より電力需給契約変更によるCO2増加分 ...洛西店757t-CO2
 外的要因による電気・ガス使用量の増加 ...気候変動等によるエネルギー使用量増分京都店:506t-CO2、洛西店:148t-CO2

2.第2回ECOバスツアー「ご家族で体験を通じ地球環境を知る」開催
 <3.20実施 びわこ地球市民の森での植樹、琵琶湖博物館の探検、手作り教室等 参加者48名(19家族)>
 3.第5回びわこ地球市民の森植樹<4.11実施 参加者32名>
 4.第6回滋賀県近江八幡「北之庄沢」水辺の清掃作業<5.20実施 参加者26名>
 5.第3回産官学市民が取り組む「びわこエコ100選」開催
 <8/8~13(6日間)入場者数10,023名 協賛企業・団体80>

連絡先	担当部署	
	担当者氏名	
	住所	
	電話番号	
	ファクシミリ番号	

注 1 該当する口には、レ印を記入してください
 2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。
 3 「事業所等排出区分」とは京都府内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは自動車運送事業者については使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。
 4 「その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等」の実績については、計画期間中の実績の累計を記入してください。
 (例) グリーン電力の購入による温室効果ガスの削減実績が18年度5トンで19年度10トンの場合、19年度の報告書の実績については18年度と19年度の実績を累計し15トンと記入
 5 「特記事項」には、平成2年度(1990年度)を基準とした排出量の対比やエネルギー原単位CO2排出量、省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達の実用、特定フロンなどの条例指定外の温室効果ガスの削減などを記入してください。